

学習問題

本時の学習問題を記述する。
児童が主張を書くときに、学習問題に対して書くことができるように示す。

しゅちょう(けっかからいえること。問題の答え)

学習問題に対する自分の考えを記述

学習問題に対して、
予想、観察、実験を通してまとめた自分なりの答え

けっか

- ・観察の結果を絵や写真で記録
- ・実験の結果を表やグラフ、絵、写真で記録

- ・観察、実験の結果をありのまま記録(絵、写真、表、グラフなど)
- ・数字や表やグラフなどの客観的データ
- ・グラフから情報を読み取り、分析・解釈できるように、児童がグラフを作成し、読み方を知る(グラフ作成ワークシートの活用)
- ・見方・考え方を働かせた考察につなげるために児童に結果をどのように書かせるか工夫が必要(記録用紙の工夫)

けっかのせつめい

結果に記録したデータを
どのように解釈するのか

記述

- ・自分の主張を成り立たせるために、実験結果をどのように捉えるのか、どのように読み取ることができるのかを考えて、記述。
- ・児童が結果を分析・解釈しやすいように、どのように結果をまとめていくか考えることが必要(どのような記録用紙にするのか、どのような実験にするのか)

記入例

3年「音のふしぎ」

しゅちょう（けっかからいえること。問題の答え）

音の大きさが小さいときは、もののふるえ方は小さくなるけど、音の大きさが大きくなると、もののふるえ方は大きくなる。音が大きくなるほど、もののふるえ方は大きくなる。

児童に「学習問題に対して、結果からどのようなことが言えるのか」を問いかける

けっか

	音の大きさを小さくしたとき	音の大きさを大きくしたとき
たたたく		
はじく		
こする		

実験結果を言葉で説明

- ・児童が観察したことをありのまま記録できるように記録用紙を作成
- ・児童が量的・関係的な見方を働かせた考察につなげられるよう、音が小さいときと大きいときを比較しやすいように記録用紙を工夫した。

実験の結果からわかったこと

けっかのせつめい

・たたいた時は、音が小さいときは、飛びはねる動きが小さかった。音の大きさを大きくしたほうが、中のビーズが大きく飛びはねた。

・はじいた時は、音が小さいときはわゴムのふるえが小さかった。音の大きさを大きくしたときは、音が小さいときよりも、ふるえ方が大きかった。

・こする時は、音の大きさが小さいときは、中のビーズの動きが小さい。音の大きさを大きくすると、中のビーズが大きくはねるように動いた。

・たたく、はじく、こする、どの時も、音を大きくするともののふるえ方は大きくなった。音を小さくすると、ふるえ方は小さくなった。